

山行申し込み、個人山行の届けは**平井**へお願いいたします。

携帯メルアド：tad-hira@ezweb.ne.jp または P C アド：izc00565@nifty.com

いわて生協山の会：2023 年 8 - 9 月の山行計画

山行日	行き先	難易度	参加費	参加〆切	備考
8/26(土)	岩手山	★★★☆☆	500 円	8/21	今度こそ山頂を目指そう！
9/3(日)	セカススキー訓練	-	-	8/25	県連主催。区界高原で遭難対策を。
9/10(日)	栗駒山	★★☆☆☆	2,000 円	9/4	須川温泉からピクニック。
9/17(日)-18(月)	蔵王古道	★★☆☆☆	30,000 円	8/20	県連県外山行。17 日は夕食交流を！
9/22(金)	三石山	★★★☆☆	1,500 円	9/19	東北で一番早い紅葉を観賞！
9/30(土)-10/1(日)	縫道石山	★☆☆☆☆	9,000 円	9/8	奥羽 B 協議会交流山行。

参加費は 5 人参加の場合の概算です。人数により変更あります。予めご了承ください。申し込みは平井へ

県連行事のご案内

9/30(土)-10/1(日) 奥羽 B 交流山行・縫道石山(下北半島)

下北半島・縫道石山(ぬいどういしやま:626m) 東北百名山。山頂には天然記念物に指定されている「オオウラヒダイワタケ(地衣類)」の植物群落があります。

9/30(土) 滝沢本部発 10:00⇒八戸道⇒15:00 佐井村民宿「みやの」(泊) *夕食交流会

*民宿「みやの」青森県下北郡佐井村佐井糠森 33-4 ☎ 0175-38-2631

10/1(日) 10:00 宿発⇒10:30 登山口～縫道石山(歩行 3:30)～14:00 登山口(解散)

⇒八戸道⇒滝沢本部 19:00 着

参加費：¥9,000(1 泊・3 食付) 参加〆切：9/8

10 月の県外山行のご案内

10/26(日)-28(土) 藤原岳・武奈ヶ岳・御在所岳を巡る

*エアーの予約の都合で 10/27(金)⇒10/26(木)に出発日を変更しました。

10/26(木) 7:00⇒花巻空港⇒小牧空港⇒登山口～藤原岳(歩行 5:05)⇒近江八幡 YH(泊)

10/27(金) 8:00 YH 発⇒9:20 登山口～武奈ヶ岳(歩行 5:10)⇒湯の山・山の家(泊)

10/28(土) 宿 7:00 発⇒登山口～国見岳・御在所岳・鎌が岳(歩行 7:15)⇒小牧空港⇒花巻空港⇒19:30 滝沢本部解散

参加費：¥60,000 集金(残金清算) 参加〆切：8/20

次回の例会は 2023/9/7(水) 18:30～ ベルツ青山 2F 会議室にて
10 月の会山行と 11 月の県外山行計画などについて話合います。

■7/14(金)-16(日) 関東と新潟の山

参加者 CL/金子・SL/平井・秋元・伊藤・セツ子・中根 6名

7/13(木) 16:00 滝沢本部を出て、盛岡インターで中根さんと合流し予定より人数が減って6名での出発です。

7/14(金) テントの中で雨音を聞き不安の中 4:30 に出て高峰温泉まで…5:45 怪しげな天気でしたが、籠の登山を目指す。15 分程で 2,020m のうぐいす展望台です。展望なし、却岩の大きな岩場を上手にかわしながら、急斜面を登り続けます。シャクナゲ・ガンコウラン・ゴゼンタチバナ…ウグイスの声に励まされ、水の塔山に 6:45 着。そこからは狭いけど…足には少し優しい尾根歩きが続き、小ピークを登下降して急斜面を登りきると、7:35 山頂に



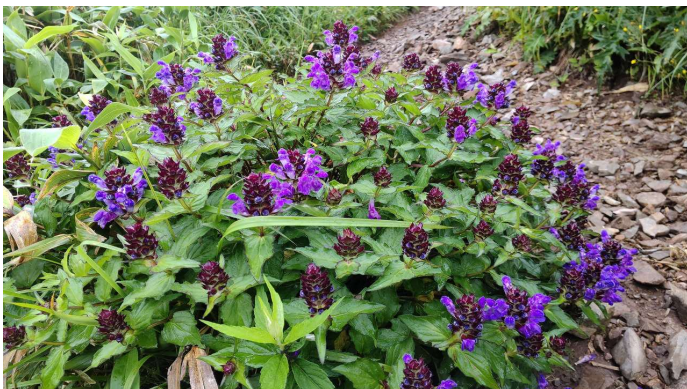
着きました。やはり周りはまっ白で何も見えません。下山時にオミナエシやリンネソウを写真に収めながら 9:12 に着きました。降りた所に龍の形に見立てた大木を祀った高峰山神社龍神様が…お礼と次の山の無事を祈りました。少し移動して外輪山の黒斑山から、美しいラインを持つ浅間山を眺めれたらと、一途の願いをこめながら車坂峠から 9:30 黒斑山(表コース)を目



指す。周りはカラマツやクマザサ、溶岩で足をとられないように進みます。40 分程歩いて、ようやく休憩です。そこにはロープが張っていて、よく見ると遠くまで株の大きいコマクサが咲いていて、スーッと疲れがとれていくようでした。槍ヶ岳には万が一の時の為に火山弾から身を守る避雷小屋がありました。砂礫の急斜面を登ってトーミの頭、そこから 20 分余りで黒斑山(2404m)11:34、ばんざーい。やはり周りはまっ白です。アーあれが浅間山ですね？と見たつもりで下山です。



下りて来た所でシュロソウを見て、きょうの山行終了 13:15 です。宿泊所はインターナショナルホテルで、相撲団楽しながら、コンビニ弁当で楽しい夕飯でした。そして明日からのお天気が酷くならない事願うばかりでした。



た。今回も皆さんのお陰で、楽しい山登りが出来た事に感謝します。(秋元)

7/15(土) 目が覚めると雨の音、もしや中止そんな思いも過るが準備をし、5:05 ホテルを出発。人気の山なので P が大変との事だが早い時間なので難なくクリア。雨具を着用する程でもなくこれ以上悪くならないようにと祈りながら 5:45 平標登山口より木の階段を登り始める。時折視界が広がるが樹林帯なので汗が流れる。でも合目の標識があるのは励みになってうれしい。

8:00 松手山までは急登急登の連続だがここからは、遙か彼方には苗場山の峰峰、心配していた天気もすっかり良くなり視界も 360 度眺めながらの稜線歩き、雄大な景色を堪能しながら 9:30 平標山到着。ここは 4 方向から登山道が伸びていて結構賑わう場所のようだ。仙の倉までは木の階段を鞍部まで下り、それを登り

返して二山程登ると 10:30 仙の倉山へ到着。平標山の方が人気で仙の倉山までは大変なので余り人は来ないようだ。花が有名と言う事でとても期待していたのだが、どうも 6 月半ば頃が時期みたいでほとんど咲き終わり、唯一ベニサラサドウダン、オノエランが目新しい所でした。ここの山は木の階段が多くて全体の 80 パーセントが階段のようでこんな山も珍しいが眺望は最高なのだが階段階段で飽きると言うよりきつ〜。11:35 平標山まで戻りここより平標山の家を経由して下山。



13:25 林道到着。14:25 変化のない林道をひたすら歩き P に到着。希望の仙の倉山に登れた事はうれしいが暫し階段は見たくない(笑)お疲れで〜す。(中根)

7/16(日) 3 日目は晴。頑張って登ります。登山には最高の朝です、私は登れるかどうか心配な朝を迎えました。予定通り 4:50 ホテルを後に巻機山登山口へと出発。桜坂登山口(5:20)にはすでに多くの車と、登山者です。

(5:30) 登山開始です。井戸尾根コースを樹林の道を進みます。一合目、二合目急坂を息が荒くなりながらも頑張って・・・五合目と登りますが、私は足元がふらつき、やっとの思いで六合目展望台(8:10)で休憩です。私は展望を楽しむ事も無く、後はニセ巻機そして避難小屋へと進み(10:50)到着です。皆は頂上へ・・・。私は残念ですが



小屋で一眠りです。中根さんには残っていたき申し訳ありませんでした。周りは多くの登山者で賑わってます!!避難小屋は H16 年に改築されたとのことで、バイオトイレが設置された立派な小屋でした。そして元気な人達の笑い声、頑張ってる姿、高層湿原でお花の時期なのでキンコウカや足元に咲いてる薄紫の可憐なリンドウ、珍しいカモメラン、木道に沿ってニッコウキスゲ、カラマツソウ等風になびき素敵でしたが私は頑張るのみです。

そして急坂の下りになるので転ばない様にと必死 な気持ちで、ひたすら長い、長い道のりを下るのみです。皆さんにはご迷惑をおかけし、リックを背負っていただき無事に下山でき安心しました。登るには大変しか印象に残りませんが、素晴らしい山(名峰)でした。ありがとうございました。予定より早い行動だったので早く盛岡インターに到着し中根さんと別れ(21:00)前に本部到着、解散でした。長距離運転と無事到着に感謝して本当にありがとうございました。そしていろいろお世話になりました。(セツ子)

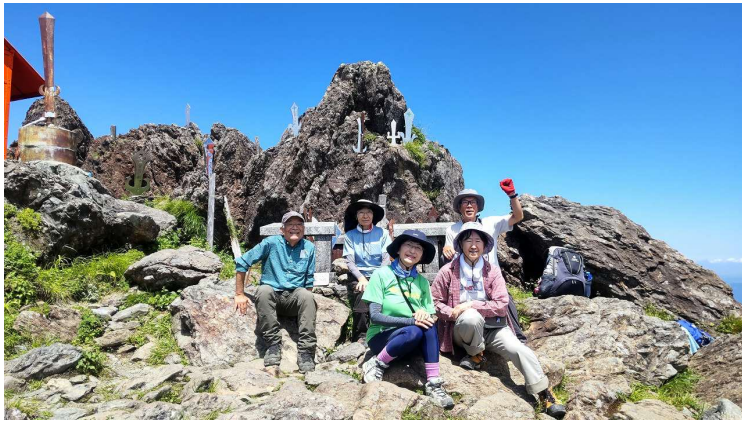
■7/25(火) 早池峰

参加者 CL/金子・SL/平井・フク子・女鹿・福川 5 名

早池峰山登山 標高 1917m の山。北上山地の最高峰で日本百名山。晴れ、気温 35.2℃ (盛岡) 朝 6 時滝沢本部出発。6 時はまだ空は曇っていた。雫石はグレーの空で霧だったそうです(フクちゃん) 時間が経つにつれ真夏の太陽が降り注いできました。大迫 7:30 着、小田越登山口より先に数台駐車できるスペースに車を停めた。7:45 登山開始。しばらく樹林帯を歩き、次にハイマツのなかの登山道、そして岩の登山道に変わりました。途中 3 か所で休憩し頂上へ出発 遠くには宮古の海もうっすら見え、宮古の月山



六角牛山 石上山 なども見えました。快晴 雲一つ見えなかった。咲いていた花 タカネナデシコ・ナンブト



ラノオ・ナンブトウチソウ・キンロバイ・ミネウスユキソウ・アズマギク・早池峰ウスユキソウ・チシマフウロ・サマニヨモギ・ハクサンチドリ・ヨツバシオガマ・イブキジャコウソウ・ミヤマオダマキ・コバイケイソウ・バイケイソウ、他にもまだありましたが花名わからず。夏山は花を見る楽しみがあり、そこに癒されます。今回はパイナップルとグレープフルーツを凍らせて一休みの時に食べましたが冷たくて甘くて好評でした！10:45

頂上着。それぞれ早い昼食を取りピストンで同じコースを下りました。足場を確認しながら下り、途中ホシガラスを発見！かわいい。個人的には訓練不足で岩登りも下りも足がふらつくし、何度もつまづきそうになり、途中何度も断念しようかと思いつつ、また弱音を吐きましたが皆さんに励まされながら、何とか歩き通すことが出来ました。ありがとうございました。また金子さんが下山途中で先に下りて車を登山口まで移動してくださいました。感謝してます。帰りの運転もお疲れ様でした。皆さんに感謝の登山でした。万歩計（17000歩）でした(福川)

■7/30(日) 秋田駒ヶ岳

参加者 CL/金子・SL/平井・泉・伊藤・セツ子・中根・女鹿 7名

6:00に滝沢本部出発。久々の秋田駒ヶ岳に、沢山のお花に会えるかな～、ニッコウキスゲは沢山咲いているかな～と期待して向かいました。7:00前に国見温泉に到着。駐車場には既に沢山の車が来ており、何とか2台ギリギリ止められました。準備をして7:05に登山開始。登山口階段付近は硫黄の匂いがしていました。階段道を登り、最初にホツツジが咲いていました。もう少し進むとクルマユリがつつぎと出てきて、バイケイソウ、秋のキリンソウ、大きなアザミが葉も大きく広げて次々と咲いていました。このアザミは痛いので、触れないように気を付けて歩きました。1時間程進んだところで休憩。日差しはジリジリと強く、日陰を見つけてひと休みしました。はるか向こうには鳥海山が雲にうかんで見えていました。またしばらく歩き8:30の休憩場所からは田沢湖が見えました。木道付近ではウサギギク、シモツケソウ、エゾシオガマ、キンポウゲと色々な花の名前を教えてもらいながら進みました。

黄色い花が沢山見えたのでニッコウキスゲかと思ったけれど、残念ながら別の花でした。壁のような登山道をよじ登る途中にいくつかのニッコウキスゲを見かけたかったです。9:45分岐の休憩でも辺りをみましたが、ニッコウキスゲはほとんど見当たりませんでした。今年は暑いためにもう終わってしまったのか、そもそもあまり咲かなかったのか、この時期に沢山咲いているイメージだったので残念でした。しかし、小さなコマクサが風に揺られていたり、沢山の花を眺めながら10:13男岳頂上に到着。田沢湖を見下ろしながらお弁当タイムをし、写真撮影して10:40に出発。帰りの大焼砂は風をさえぎるものがないため、だいぶ風が強く感じましたが、その分、炎天下の暑さはあまり気になりませんでした。登山口には13:10到着。沢山の汗をかき、顔は塩でざらざらになっていました。エアコンの効いた車の中はこちよく、本部に到着して車から降りたら猛暑真っ只中の温度差に、帰着時間を記録するのを忘れてしまいましたが、たしか14:00過ぎだったと思います。みなさん、お疲れさまでした。(女鹿)

